

## 部会議事概要集

令和5年 3月



## 目次

### ・まちづくり構想部会

- 5/12 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第37回部会）議事概要・・・1
- 7/14 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第38回部会）議事概要・・・6
- 9/8 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第39回部会）議事概要・・・12
- 11/10 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第40回部会）議事概要・・・14
- 1/12 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第41回部会）議事概要・・・17



## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 37 回部会）会議録

日 時：令和 4 年 5 月 12 日（木）午後 7 時～午後 8 時 40 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 今年度の活動について
  - (2) 活動報告及び意見交換
  - (3) 情報提供
- 4 その他
- 5 閉会

### 《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 資料-1 【バリアフリー構想の実現に向けて】
- ・ 資料-2 令和 4 年度 活動予定（再掲）
- ・ 「柴島浄水場上系配水池上部空間」の有効活用に関するマーケットサウンディング（市場調査）
- ・ 大規模事業リスク管理会議（抜粋）
- ・ 副首都推進本部会議（抜粋）
- ・ 「新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備地域まちづくり方針 2022（案）」にかかるパブリック・コメント

## 1. 開会

## 2. 部会長あいさつ

## 3. 議題

### (3) 情報提供

#### (事務局)

- ・ 議題が前後するが先に (3) 情報提供の説明をさせて頂く。
- ・ 1 点目は「柴島浄水場上系配水池上部空間」の有効活用に関するマーケットサウンディング（市場調査）の結果についてである。柴島浄水場（上系）5・6 号配水池の上部空間を活用し、民間事業者には施設の建設及び運営を任せる検討が進められている。施設の幅広い事業アイデア、参画意欲、市場性の有無等を把握することを目的に、マーケットサウンディング（市場調査）が実施された。事前説明会や現地見学会に 8 者が来られ、2 者との対話が実施された。結果として、アクセスルートの改善により事業性の向上が見込めるといったことや事業期間はいずれにも 20 年から 30 年は見込んで欲しいということである。今後の検討状況については、随時情報提供していきたいと考えている。
- ・ 2 点目は、阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業について、大阪市大規模事業リスク管理会議で 4 年間程度延伸することが公の資料として示されている。事業完了が令和 13 年度、高架切替が令和 10 年度になる見込みである。

- ・3点目は、新大阪駅周辺のまちづくりについて（今後の進め方）について、副首都推進本部会議にて、大阪都市計画局から府知事、市長に報告された。まちづくり方針（案）が取りまとめられ、令和4年4月22日から5月23日までの期間でパブリックコメントが実施されている。パブリックコメントの期間が終了後に改めて検討協議会が実施されると聞いている。
- ・4点目は、淡路駅周辺自転車対策協議会からのお知らせについてである。淡路駅周辺の放置自転車の対策について、「淡路駅周辺自転車対策協議会」が昨年11月に立ち上げられたことや構成する団体、協議会の取り組み、淡路駅周辺の駐輪場について示されている。

**（部会長）**

- ・柴島浄水場のマーケットサウンディングの報告書は公表されているのか。
- ・事業者募集はいつするのか。

**（事務局）**

- ・報告書は大阪市のホームページに掲載されている。
- ・募集はこれからの検討と聞いている。スケジュールも現時点では決まっていない。

**（部会長）**

- ・柴島浄水場のマーケットサウンディングの事務局は水道局が担当しているのか。

**（事務局）**

- ・水道局が担当している。

**（部会長）**

- ・マーケットサウンディングを行ってから事業者募集は早いと思われるがどうなのか。

**（事務局）**

- ・準備をどの程度進めているかで変わってくると思われる。

**（久教授）**

- ・同様に水道局の管理であった桜ノ宮駅前の水桜会館の時は、勝手に売却するような雰囲気があったため、区役所が入り住民要望を聞いて、どういう施設を売却に際して入れて欲しいかということを伝えた。

**（事務局）**

- ・柴島浄水場については、地下の配水施設の上部空間の利用なので、売却という話ではない。

**（久教授）**

- ・公共空間を使う時には、区役所や区民の意見が重要になるので、意見交換をする場があればいいように思う。

**（部会長）**

- ・マーケットサウンディングの報告と今後のスケジュール、進め方を説明してもらうため、次回の構想部会に水道局に来て頂くのはどうか。

**（事務局）**

- ・事務局から説明をして貰えるか確認をする。

## **(1) 今年度の活動について**

### **(事務局)**

- ・アンケート調査を実施した際に協議会の活動が認知されていない認識が少ないという意見を頂いていたので、配布用の資料を作成した。（資料-1）
- ・アクションプランの作成がなかなか進まない理由の過半数がコロナ禍で会合が出来ないという意見であった。まん延防止措置も解除されたため、部会員の方を窓口として、各地域の代表に説明させて頂いて、地域の実情に合わせて進めていきたいと考えている。
- ・久教授からアドバイス頂いているように、アクションプランに記載する 95%はこれまでの活動についてである。現在、地域で行われている活動テーマを整理していくことで前に進むと考えている。
- ・地域への負担を軽減するため地域保健福祉計画策定に関する作業とも重複しないように区役所内でも連携する予定である。
- ・大阪府から感染拡大防止に向けた要請が 5 月 22 日まで出ているので、5 月 23 日以降に各部会員に日程調整をお願いする予定である。

## **(2) 活動情報及び意見交換**

### **意見交換要旨**

#### **【地域の活動状況】**

##### **西淡路地域**

- ・もと西淡路小学校跡地の計画で大阪市は当初は売却という方針だったが協議を重ね、売却だけでなくもと小学校跡地を既存のまま活用する方向性も合わせて検討することとなった。
- ・新大阪駅東口まちづくりの骨子が出来上がってきているので、今年度をかけてまちづくりのビジョンを作っていきたいと思う。住民参加のまちづくりが極めて大事なので、そこは住まわれている方、通勤で通われている方などの意見の集約を進めていきたいと思う。

##### **豊新地域（部会員欠席のため部会長からの報告内容）**

- ・フードバンクやフードドライブの活動が地域で計画されている。

##### **新庄地域**

- ・秋の運動会を新設されるグラウンドのお披露目の意味も含めて開催したいと考えている。

##### **下新庄地域**

- ・サマーフェスタ等のイベントも含めて、活動のほとんどが再開している。

#### **【阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業について】**

### **(部会長)**

- ・阪急の立体交差の事業が遅れるとの話もあるが、高架下の利用方法などを地域と連携して検討したいと考えている。将来的にはアクションプランにも繋がると考えている。

**(久教授)**

- ・近鉄が近鉄不動産とタイアップして、高架下にオフィス付住宅というものを計画している事例がある。

**(事務局)**

- ・高架下の話は、直近にならないと計画が決まらないところがあり、現時点では具体的な話とせず、色々なアイデア出しをした方が今後のためになるように思う。
- ・連続立体交差事業では、公共がお金を出しているの、一定の割合で公共が使用できる面積が確保できる。それをどのように活用するかは、事業が進んでからの議論になると思われる。活用事例として、福祉会館や広場をつくっている事例は大阪市にもある。

**【アクションプラン（保険福祉計画）の見直しについて】**

**(部会員)**

- ・作成した計画の見直しは期限があってないようなもので、このままでは忘れられそうな状況である。どうすればいいのか。

**(久教授)**

- ・ある地域では5年毎に見直しをしている。見直すというのは、作り直すということではなく、今の時代に合っているかどうか点検するという意味である。5年に1度を目途に会議を開き、今後5年もつかどうかという議論をし、微修正するという作業を行うといいように思う。大変だが毎年点検をしている地域もある。作って終わりなら忘れられるので、見る機会を増やすことが重要だと思う。

**(事務局)**

- ・区役所でも5年に1度点検し、計画の見直しを行っている。手間はかかるが、点検が出来るのでいい仕組みだと思う。
- ・声をかけて頂けたら、新庄の会合にも参加させて頂きお手伝いすることは可能である。

**(久教授)**

- ・ある地域で地域の基礎データも2年経つと変化するかもしれないから、コンサルに手伝ってもらえないかという相談があった。地域に統計データに強い人や分析したいと思っている人を探してお願いすることで、地域の中で回せるのではないかと提案した。地域のデータは、今ではオープンデータになっているので分析してくれる人さえ見つければ地域で出来るように思う。事務局にコンサルタントが入っているが、地域の住民にもどこかのコンサルタントなどに勤めている人がいるはずである。

**(事務局)**

- ・以前に地域の基礎データを整理した資料がある。国勢調査の結果を確認し、更新できるデータがあれば更新し、次回提供を行う。世帯数と人口が更新されているのは確認しているが、更に細かなデータは追々出てくると思われる。

**久教授のアドバイス要旨**

- ・他の区の小学校の統廃合に伴う開発事業について、私も選考委員に入っている。地域からすると小学校は防災機能や地域の事業を展開する拠点機能を持っているものである。元々地域が活用していた機能は一定確保した上で、事業をするという約束をしている。



- ・ある市ではまちづくり協議会のガイドブックを作成している。ガイドブックの中には運営方法のチェックリストがあるので、参考にしてもらいたい。現状の問題点は色々出てくるが、5年後や10年後の事を考えた地域の将来像を、まずは話し合ってもらいたい。次に地域の将来像を実現するためにどういう事を日々やっていくのかという構成にすると分かり易くなると思う。
- ・アクションプランとは未来の話をするのですが、100年前、10年前の地図などを一緒に載せておくと、記憶を伝えていくことも出来るので面白いと思う。未来を語る前に歴史を地域で共有するという作業を行う。地域のご高齢の方は楽しそうにしてくれる。話を聞かせて下さいという姿勢から入るので、たくさん話してくれるし話もよく聞いてくれるという雰囲気に変わる。

#### **4. その他**

---

- ・次回の部会は7月14日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

#### **5. 閉会**

---

以上

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 38 回部会）会議録

日 時：令和 4 年 7 月 14 日（木）午後 7 時～午後 8 時 40 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 情報提供
  - (2) 活動報告及び意見交換
  - (3) アクションプランの進め方
- 4 その他
- 5 閉会

### ≪配付資料≫

- ・ 議事次第
- ・ 「柴島浄水場上系配水池上部空間」の有効活用に関するマーケットサウンディング（市場調査）
- ・ 都市再生緊急整備地域の指定に係る申出
- ・ 資料 アクションプランにつながる「まちプラン」の作成

## 1. 開会

## 2. 部会長あいさつ

## 3. 議題

### (1) 情報提供

#### 【「柴島浄水場系配水池上部空間」の有効活用に関するマーケットサウンディング（市場調査）】

#### （事務局）

- ・ 情報提供として、本日は水道局の柴島浄水場のマーケットサウンディングや市場調査の担当者に来ていただいた。直接担当されている方からの報告を伺った方が、皆さまにも伝わりやすいし、質問等にもお答え頂けると思う。

#### （大阪市水道局）

- ・ 本日は、当局が進めております、柴島浄水場の上系配水池の上部空間の有効利用事業につきましてご説明させていただきます。
- ・ 今回、民間事業者のアイデア、参加意欲、市場性の有無等を調査するためのマーケットサウンディングを行った。まずは、水道事業の概要を説明させていただきます。
- ・ 水道事業は、水を作る、送る、届けるという 3 段階で事業を行っております。柴島浄水場は、本市の最大の水を作るための施設になっております。
- ・ 水を作る手順は、淀川からの水を取水し、ゴミを取り除き、砂の層でろ過し、オゾンや活性炭という作用できれいにします。そのうち消毒のために塩素を加えるというのが、大まかな手順です。
- ・ 本日主に説明させて頂く配水池は、きれいになった水道水を一定量貯蔵する役割を担っている施設であ

り、ここに蓄えられた水が配水ポンプ場を通り、市民の皆さまへ届けられるという一連の流れが浄水場の役割になっています。

- ・今回有効利用の計画をしているのは連続立体高架事業が進められている、阪急千里線の東側の５・６号配水池です。５・６号配水池の南側は、すでに「くにじまスポーツ」として有効利用を行っている、１６～１９号配水池があります。この５・６号配水池の方には、直接周囲からアクセスするための道路がないため、くにじまスポーツの中を経由し入場する必要があります。一番狭い部分では、道幅が約２ｍ程度となっており、基本的に大きな車両は中に入れないような構造になっています。
- ・現在５・６号配水池は今年度中の完成を目指して、耐震化工事を行っており、水を貯蔵する内部空間は、ほぼ完成している段階です。
- ・次に『「柴島浄水場上系配水池部空間」の有効利用に関するマーケットサウンディング（市場調査）の結果』について説明します。
- ・今回のマーケットサウンディングは、令和３年の１１月から令和４年の２月にかけて実施し、この結果については、水道局のＨＰに公表しています。
- ・「くにじまスポーツ」に関しては、一部の設備が経年化、老朽化しているので、当局であらかじめ３つのパターンを設定し、民間事業者に意見を聞きました。

パターン１．「５・６号配水池」を単独で利用した場合

パターン２．「５・６号配水池」と隣接する「１６～１９号配水池の現有施設」をそのまま使用した上で、一体的に活用する場合

パターン３．「５・６号配水池」と隣接する「１６～１９号配水池の現有施設」の一部を整備し直し、改めて整備した施設をもって一体的に活用を行う場合

この３つのパターンで、民間事業者に事業化につながるのか意見を伺った。

- ・事前説明会には８者が参加し、最終的に当局と対話を実施したのは２者でした。
- ・２者からの提案内容の結果としては、いずれのパターンにおいても想定させる事業は、スポーツ施設が挙げられました。具体的には、テニスやソフトボール、スケートボードなどが挙げられており、事業期間は、極力長い方がいいということで、２０～３０年と長期間となっています。
- ・パターン１．の５・６号配水池を単独利用する案については、上部空間へのアクセスルートが悪くまた駐車場がないといった意見がありました。
- ・当局では、こうした民間事業者からのご意見を踏まえ、この５・６号配水池の有効利用について、隣接する１６～１９号配水池との一体活用を主に、今後具体的な検討を進めて参りたいと考えています。
- ・有効利用の時期は、現時点では明確にお答えできる状況ではなく、まず、５・６号配水池の耐震化工事を本年度中に完成させることを最優先で取り組んでいます。
- ・有効利用の事業化については、耐震化工事が完了した後に着手することになりますが、本事業は、地元住民の皆さまにも大きく関わる内容になりますので、今後とも東淀川区役所と連携を図りながら、今後のスケジュールがある程度見えてきた段階で改めて情報提供をさせていただきます。

**(事務局)**

- ・ 工事は今年度いっぱいかかる予定か。

**(大阪市水道局)**

- ・ 工事は最終段階に来ており、今年度中に終わる予定です。

**(部会長)**

- ・ 既存施設の拡張やソフトボール場を新設するということか。

**(大阪市水道局)**

- ・ 具体的なスポーツ事業を指定せずに、アイデアを募っていきたいと考えています。

**(久教授)**

- ・ スポーツ用施設以外の提案はなかったということによいか。

**(大阪市水道局)**

- ・ スポーツ施設以外に幅広く提案を募りましたが、挙がってきたのはスポーツ施設だけでした。

**(部会長)**

- ・ 今後の進め方はどうなるのか。

**(大阪市水道局)**

- ・ 現状、耐震化の工事が終わっていないので、少なくともこの工事が進んでいる状況では、次の有効利用のステップには進めません。この工事は本年度中完了を目途にしているので、有効利用の手続きはそれ以降になります。

**(部会長)**

- ・ 公募はしないのか、また時期はいつごろか。

**(大阪市水道局)**

- ・ 工事の進捗で前後するため明確な時期は述べられませんが、公募をする予定です。

**(事務局)**

- ・ 今後のスケジュールを検討して頂き、具体的に決定するという状況になれば、情報提供して頂いたうえ、この部会でスケジュール等の報告をしていきたい。

**【都市再生緊急整備地域の指定に係る申出】**

**(事務局)**

- ・ 平成 30 年から都市再生緊急整備の候補地域として公表され、翌年の 31 年 1 月に自治体、民間事業者、学識等で検討協議会というものが設置された。7 回にわたり会議が開催され、今年 6 月にパブリックコメントをしたうえで「緊急整備地域まちづくり方針 2022」が取りまとめられた。7 月 7 日に都市再生特別措置法に基づく緊急整備地域の指定の申出が内閣府に対して行われた。今後、国で検討がなされたうえで、緊急整備地域の指定の手続きという事になると思われる。

**(2) 活動情報及び意見交換**

**【地域の活動状況】**

## 新庄地域

- ・新庄小学校第2グラウンドが6月末にできる予定だったが、延長されて8月15日ぐらいが引き渡しになる予定である。地域としては防災拠点として、初めて大きな施設ができる。引き渡しを含めて9月ぐらいにはお披露目したいと思っている。
- ・スーパーの跡地にマンションの看板ができた。1年ぐらいで完成すると思われる。

## 下新庄地域

- ・6月18日に下新庄のワークショップを開催した。阪急・建設局の担当者に来て頂き、連続立体交差事業の説明をして頂いた。駅構内か高架下に地域の公民館的な場所が欲しいだとか、駅の入り口を両側に欲しい等色々な意見が出た。

## 西淡路地域

- ・5月末頃に西淡路小学校の跡地の活用についてワークショップを行った。参加者は50人程度で、久先生にもアドバイザーで来ていただき、意見交換を行った。今まで売却が基本方針だったが活用の可能性も出てきた。

### (3) アクションプランの進め方

#### (事務局)

- ・議論を進めている中でアクションプランのイメージが行動計画から変わってきているように感じ、改めて整理をしたいと思う。平成30年3月にまちづくり構想が策定され、地域ごとのアクションプラン作ることになったと思う。以降、各地域で作業を進めて貰っているがコロナ禍の影響もありストップしているといった状況である。
- ・そういった状況の中、部会では、「過去の地図とかあったらおもしろい」、「コロナ禍なので構想の内容をブラッシュアップしたらどうか」、「地域の要望をアクションプランに位置付けておいたらい」、「10年後にどういう地域にしたいかを話し合い、その実現に向けて日々何をやっていくのかを2段階で整理すると良い」等の意見が出ている。
- ・部会での意見を踏まえ行動計画だけを整理する「アクションプラン」ではなく、各地域の将来像等も整理した「まちプラン」の作成を提案したい。「まちプラン」の内容は、最初に、人口や土地利用、福祉、歴史といった地域の現況を資料として示す。2番目に地域のなりたい将来像として、キャッチフレーズや10年後のめざす姿を整理する。例えば、キャッチフレーズとしては「家族で暮らすなら上新庄」、目指す姿について「これからの「便利」で「住みよい」「賑やか」なまちの特性生かして、子育て世代の人が集まるまちを目指します」といった内容を考えるものである。3番目にまちづくりの方向性を整理する。例えば、「賑やかなまち」というフレーズや高架下を活用した新たな賑わい創出といったものである。4番目にアクションプランとして、行動計画を整理する。
- ・各地域版のまちづくり構想を作って、そこにアクションプランを加えていくことで、まちの未来像を作ってはどうかと思っている。
- ・事務局が情報提供や資料作成といったサポートを行い、地域がワークショップを通じてアクションプランを取りまとめるという形で進めたいと思っている。

## 4. その他

### (事務局)

- ・地域カルテの更新を行った。地域活動について、申請書や実績を基に表を作成し、こういった活動がどういったテーマでどういった内容でされているのかをまとめた。議論の基になるようなデータがあれば、個々につけ足していく形で更新を行う。

### 久教授のアドバイス要旨

#### 【学校の跡地活用について】

- ・全国的にも廃校が多数出てきており、200校以上の跡地活用が始まっている。各教室にいろいろな事業に入ってもらおうというパターンが多い。お金を稼がないと光熱費等が払えないので、半分以上は飲食の方が入っている場合が多いように思う。教室、部屋ごとに色々な事をやって、それを1つのテーマにまとめるという方向だと色々な人に参画して貰えるように思う。
- ・業者に依頼すると費用がかかるので、セルフリノベーションのような形で行うと材料費だけで済むので、改装そのものも楽しみながらやるという方法もある。1部屋貸しにし、「改装も可」という条件にすると個性が出るように思う。
- ・長屋などのリノベーションが進んでいる区もある。昭和30年代の安アパートがあり、誰も借りてくれないので、アパートを改装するワークショップを開催し、材料費だけでリノベーションすることができた。更に、参加者から数名そのまま住む人が出てきたのである。自分で作業することで愛着が湧く、うまいやり方だと思う。

#### 【アクションプラン・地域の将来像について】

- ・まち全体も重要だが10年後をイメージするときには自分も10歳年を取るというイメージを持った方がよい。どうしても今変わろうとしているところに目がいくのだが、自分の家や家族がどう変わるのかをイメージするのである。五十代の人は退職し暮らし方が変わっているはずである。自分や家族の10年後を描いていくと、もう少し実感を持って10年後のイメージができるように思うし、こういう機会がないと自分たちの10年後を考える機会がないので、家族で一緒にやるとより面白いと思う。
- ・30代過ぎで家庭が出来て、子どもができて、そして子どもが巣立ってと、ライフステージみたいなものを考える。まちの将来よりも自分たちの将来を考えたほうが現実味を帯びて考えられると思う。
- ・ニュータウンだと坂が多いし駅から遠いことが話題によく上がります。私は、「坂が多いこんなまちで暮らせないと言うけど、坂はずっとありますよ。」と「車の運転ができなくなってバスがないから何とかしろと言うけど、それは昔から分かっていたよね。」と話しをする。役所にやってもらいたいことは、実は自分自身の問題である事がある。
- ・30年先ぐらいの自分の生活を考えて、住まいを選んでおいたほうがよいと思う。
- ・現況の資料として、住宅の分類の特徴があればよいと思う。戸建てが多い地域、マンションが多い地域、賃貸が分譲とか、そういうことが見えてくるとそれぞれ特徴が分かってくると思う。
- ・高齢化が進んでいってしまっている地域は、結婚してすぐに住める場所はあるけど、子育てをする30代後半ぐらいで、住めるような広さの住宅がない地域である。新婚の間は住んでいて、子どもができると出

で行ってしまうというパターンがある。

- ・「店もないのにどこで買い物するの」と話をしたこともある、買い物をする環境が整っているかどうかも重要である。
- ・儲け主義の人がやっているお店は、儲からないと分かると撤退してしまう。それに比べて地元の人はずぐには撤退をしないので、継続性を保つために地元の人のお店を使ってあげたほうが良い。
- ・今の生活が 10 年後 20 年後、変わっているかどうかという確認もやっていただいたほうが良いと思います。

#### **4. その他**

---

- ・次回の部会は 9 月 8 日（木）午後 7 時から、東淀川区役所出張所 3 階多目的室で開催予定。

#### **5. 閉会**

---

以上

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 39 回部会）会議録

日 時：令和 4 年 9 月 8 日（木）午後 7 時～午後 8 時 15 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 情報提供
  - (2) 活動報告及び意見交換
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

### 《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ 広報ひがしよどがわ令和 4 年 8 月号
- ・ 話題提供資料

## 1. 開会

---

## 2. 部会長あいさつ

---

- ・ 部会長欠席のため、指名により淡路地域部会員が部会長代理を務めた。

## 3. 議題

---

### (1) 情報提供

#### 【広報ひがしよどがわ令和 4 年 8 月号での連続立体交差事業の特集について】

#### (事務局)

- ・ これまで、区役所として連続立体交差事業について特集したことがなく、建設局と協力し事業の概要や進捗を整理し、広報としてとりまとめた。
- ・ 令和 10 年度の高架切替、令和 13 年度の事業完了に向けて進められるということで、区長もまちの未来については期待しているとコメントしている。
- ・ 広報について、地域から何か問い合わせ等があったか伺いたい。

#### (部会長代理)

- ・ 何故工事が遅れたのか、今後は遅れないのかといった疑問はある。

#### (事務局)

- ・ 工事への支障が出る可能性のある用地の買収が完了し、工事ヤードが確保でき目途が立ったと聞いている。今後は用地買収が完了せずに工事が進められないということにはならないので、大きくはブレないと思っている。

#### (久教授)

- ・ 駅と高架の整備は令和 10 年度で完了し、令和 11 年度から令和 13 年度の期間で側道や高架下の整備を行うということで良いか。



### **(事務局)**

- ・その通りである。線路の撤去後、道路等の整備を行う予定で、少なくとも踏切は令和 10 年度に無くなる予定である。

### **【話題提供資料について】**

### **(事務局)**

- ・国勢調査等の結果を基に東淀川区西部地域の人口に関わるグラフや大阪市と区別の人口の移動率などのグラフを作成した。
- ・下新庄地域では連続立体交差事業に関わる資料を用いたワークショップが開催されたところ盛況だったと聞き、同様にワークショップの開催時に話題になるような資料にできないかと作成したものである。
- ・東淀川区の人口の移動率は 12.9%であることや民営借家率が高い地域は低い地域と比べて住民の入れ替わりが多い可能性が推測できる。他に東淀川区内で外国人が増えたというデータもある。
- ・他にもこのような仮説があるのではないかと提案頂ければ、資料を作成したい。

### **地域からの意見等**

- ・転出入している人の年齢、性別が分かると話が広がると思う。
- ・コロナ禍で日本に住んでいる外国人は地域に根付いてそうなので発掘しても面白いかもしれません。
- ・データだけではなく、箇条書きでもいいので地域の傾向を記載して貰えると分かり易いように思う。

### **久教授のアドバイス要旨**

- ・人口の移動が校区の内外なのかどうか分かれば面白い。一番良いのは校区の中で人の移動が完結している場合である。郊外のニュータウンでは、子どもが大きくなって世代分離をする際に地域から出て行き戻ってこないことで、地域の高齢化が進むことが問題になっている。恐らく、東淀川区内には様々なタイプの住宅があるので、人の移動が地域の中で完結することができると思う。
- ・学生で在学中は大学の近くで住み、就職のタイミングで都心部に引っ越す学生がいる。東淀川区内のワンルームマンションにはそのような人が入って来ていると思う。
- ・ニュージーランド人の先生と話す機会があったが、ニュージーランドでは永住ビザを発行して貰えると、選挙権もあるしニュージーランド人と同じ公共サービスを受けられると聞いた。逆に日本では永住ビザだけでは制限があるので、外国人が定着し辛い。
- ・地域内でワンルームマンションが多く建つとこれまでの部会でも話題に出ているが、ワンルームマンションが増えている地域は、事業者にワンルームマンションの需要が高い地域だと思われることが原因でもある。そのイメージを地域ブランドをすることで変える必要がある。地域のブランドは決して高級じゃなくても良い。東淀川区は安心して暮らせるというブランドでいい。

### **4. その他**

- ・次回の部会は 11 月 10 日（木）午後 7 時から、東淀川区役所出張所 3 階多目的室で開催予定。

### **5. 閉会**

以上

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 40 回部会）会議録

日 時：令和 4 年 11 月 10 日（木）午後 7 時～午後 8 時 30 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 情報提供
  - (2) 活動報告及び意見交換
  - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉会

### ≪配付資料≫

- ・ 議事次第
- ・ （情報提供）新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について
- ・ （情報提供）駐輪マナーアップキャンペーン（淡路駅周辺）
- ・ 活動報告

## 1. 開会

## 2. 部会長あいさつ

## 3. 議題

### (1) 情報提供

#### 新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について

##### (事務局)

- ・ これまで部会でも度々報告をしていた「新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について」、10 月 25 日に閣議決定、10 月 28 日に政令が交付され正式に位置づけられた。
- ・ 対象範囲は 114ha で東淀川区では西淡路地域と啓発地域の一部が含まれている。都市再生緊急整備地域に指定されたからといってすぐに何かあるのではなく、今後のまちづくりのための環境が整ったと考えて貰いたい。

#### 駐輪マナーアップキャンペーン（淡路駅周辺）について

##### (事務局)

- ・ 淡路・東淡路地域活動協議会、東淡路・淡路本町商店街等に参加いただき、令和 3 年 11 月に自転車対策協議会が設立された。今年度は 2 回協議会が実施されており、啓発活動や子ども向けの自転車教室の実施が予定されている。

## 質疑応答

### (部会員)

- ・ 「新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域」の指定と合わせて、資料の掲載等はされているのか。

### (事務局)

- ・ 内閣府HPにて区域図と区域内での整備方針、予定プロジェクトの一覧等の資料が公開されている。整備

方針は具体的なものではなく、指定を経てからの協議会にて議論がされていくものだと捉えている。

- ・これまで府市で検討協議会が開かれ、検討の履歴についてもHPにアップされている。

#### **(部会員)**

- ・子ども自転車教室は地域が主催となって行われているのか。また、指導は地域で行うのか。

#### **(事務局)**

- ・淡路駅周辺自転車対策協議会が主催となっており、小学校や地活協に協力頂き実施している。指導等は自転車に関する教育を専門としている団体に依頼をしている。
- ・対策協議会で大人だけでなく子どもの頃から指導・啓発するべきだとの意見があり実施するに至った。

### **(2) 活動報告及び意見交換**

#### **【地域の活動状況】**

##### **東淡路・柴島地域**

- ・11月5日に地域交流祭りを開催した。例年は地域夏祭りとして小学校校庭を借りて8月に開催していたが、この2年はコロナの影響で開催できず今年の夏も開催を断念していたが、時期のスライドやキッチンカーによる飲食物の提供等の工夫を行い、開催することができた。

##### **淡路地域**

- ・東淡路商店街のハロウィンイベントでは久しぶりのイベントだった事もあり商店街が参加者で溢れかえっていた。人数制限ができるスペースでのイベントの開催等安全面も考慮する必要があるように感じた。
- ・須賀の森のイベントも小学校主体の夏のイベントを秋にスライドして開催になった。イベントの参加者が予想より多く、商品が売り切れになったお店が多かったようである。
- ・老人憩の家の建て替えが進められているので、また情報提供をしたいと思う。

##### **東淡路・柴島地域**

- ・柴島神社で例年通りに7月15日にお祭りを開催したら、他の地域でやっていない事もあり人が溢れかえっていた。一方、10月15日のお祭りは参加者が少なかった。
- ・ふれあい喫茶を振興町会単位では一部再開をした。
- ・中学校では2、3年イベントが開催できなかった事でイベントの引継ぎ等が問題になりそうである。
- ・2年ぶりにイベントが開催できた半面、またコロナの感染者が増えてきているのが不安である。

##### **新庄地域**

- ・10月1日に赤い羽根募金を地域で初めて実施した。その後清掃活動を実施した。
- ・10月15日、16日には青パトの講習会を実施した。
- ・10月16日には第2グラウンドで小学校の運動会があった。14基テントが設置されており、その内10基は地活協が寄付している。
- ・11月6日には第2グラウンドでグラウンドゴルフ大会と防災訓練があった。第2グラウンドのイベントは地域へのお披露目会の意味でも開催した。第2グラウンドは今後、防災拠点として活用したいと考えている。
- ・11月20日には子ども向けの野外活動を実施したが、コロナ禍でイベントが3年空いたりしたことが原因

なのか、参加者が少なかった。動員を掛ければある程度集めることはできたが、実際のニーズが知れたと思っている。

#### **啓発地域**

- ・お祭り等の大きなイベントは無かったように思う。定例の事業は開催している。

#### **西淡路地域**

- ・イベントの参加者がとても多く安全面の配慮が必要だなと感じた。
- ・新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定について、ワークショップを行った。地域住民の意見を聞いて欲しいという声が多かった。
- ・西淡路小学校跡地活用について、教育関係の機関や地域住民に対してアンケートが行われていると聞いている。また、調査結果が分かり次第報告したいと思う。
- ・11月22日にイオンスタイル東淀川がオープンする予定で、先週には周辺地域向けの防災訓練が実施されたと聞いている。

#### **【阪急電鉄京都線・千里線立体連続交差事業について】**

##### **(部会長)**

- ・阪急の連続立体交差事業も進んできており、下新庄地域ではワークショップをさせていただきましたし、啓発地域や東淡路・柴島地域とも相談をしている。下新庄地域のワークショップの話が柴島地域の方に伝わり、非常に関心を得ているとも聞いている。

##### **(部会員)**

- ・柴島地域はスーパー等の買い物ができるお店も少なく、病院も無くなり、色々困る場面が多いと思う。

##### **(久教授)**

- ・柴島地域は淀川と浄水場に囲まれているので、商圈が狭いというネックがどうしてもある。

##### **(部会長)**

- ・柴島地域は高架下の活用について、特に高校の生徒と教師の方の関心が高いと聞いている。

#### **久教授のアドバイス要旨**

- ・ある校区で井戸端会議をやっていて、普段は100人～200人程度いる参加者が動員を掛けなかったら参加3人だったことがあり、実際のニーズが分かったという事例もある。
- ・キッチンカーの話題が出ていたが、ある地域のイベントではイベントの主催者の友達が始めたキッチンカーを呼んだという事例がある。この事例のように、地域の方が商業に関わる事で地域の中でお金が回ればいいと思う。
- ・東淀川区で実施する場合は東淀川区近辺の業者や地域内でこれから始めたいという人の応援の場面、起業支援として活用してネットワークができれば良いと思う。

#### **4. その他**

- ・次回の部会は令和5年1月12日（木）午後7時から、東淀川区役所出張所3階多目的室で開催予定。

#### **5. 閉会**

以上

## 東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会（第 41 回部会）会議録

日 時：令和 5 年 1 月 12 日（木）午後 7 時～午後 8 時 20 分  
場 所：東淀川区役所出張所 3 階多目的室

### 【議事】

- 1 開会
- 2 部会長あいさつ
- 3 議題
  - (1) 情報提供
  - (2) 活動報告及び意見交換
  - (3) 地域でつくるまちプランについて
  - (4) その他
- 4 その他
- 5 閉会

### 《配付資料》

- ・ 議事次第
- ・ （情報提供）第 1 回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会会議について
- ・ 地域でつくるまちプランについて
- ・ 活動報告

## 1. 開会

## 2. 部会長あいさつ

## 3. 議題

### (1) 情報提供

#### 第 1 回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会会議について

##### (事務局)

- ・ 以前から話をしていた「新大阪駅周辺地域の都市再生緊急整備地域指定」について、昨年 10 月に新大阪駅周辺地域が指定された。
- ・ 昨年の 12 月に第 1 回新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会が実施された。新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会は法律に基づいて新たに設置された組織で、今後の進め方等について検討がなされていく。
- ・ 事務局から新大阪駅周辺地域のまちづくりロードマップについて説明。
- ・ この協議会内には今後、部会も組織される予定であり、東淀川区長も部会に参加する予定である。

### (2) 活動報告及び意見交換

#### 【地域の活動状況】

##### 新庄地域

- ・ 1 月 10 日に新庄保育園がリニューアルされた。
- ・ 年末の夜警を全地域で実施いただいた。
- ・ 12 月 10 日に障がい児をもつ親世代の交流会を実施した。現在学校に通っている子がいる親に対して卒業した子がいる親からアドバイスや経験を伝えて貰う等サポートし、地域で支え活発に活動していきたいと思う。

- ・モンゴルの異文化に触れる会を実施しました。グラウンドでゲルの設営等を体験する予定だったが、雨天だったのでモンゴル式のお茶の体験や馬頭琴の演奏を聴くことがメインだった。多文化共生で区の方針にも他国の人を地域に呼び込み新たな担い手にするといった方針があるので、地域内で継続して似たイベントをやりたいと思っている。

### **下新庄地域**

- ・コロナ禍前に計画されていた12月10日に子ども食堂を実施した。
- ・12月24日にクリスマスイベントを実施した。
- ・12月第2土曜から地域内の2公園でイルミネーションの設置をした。これまでは、1公園だけで設置していたが2公園に拡大することができ、イベントも2公園で実施した。
- ・年末の夜警を実施いただいた。
- ・除夜の鐘を打つイベントを久々に実施した。

### **東淡路・柴島地域**

- ・12月18日にアワナリエというイルミネーションイベントを実施した。
- ・年末の夜警を実施いただいた。
- ・1月1日には祝い太鼓のイベントを実施した。
- ・食事の提供サービス等は1月からコロナ以前の形態で実施する予定だったが、コロナが改めて広がっている事もあり、コロナ対策を継続している。

### **啓発地域**

- ・年末の巡視を実施行った。
- ・2月11日に2年ぶりに凧揚げのイベントを実施する予定である。
- ・3月18日に延期した秋祭りの代わりに春祭りのイベントを実施する予定である。
- ・アクションプランの作成も取り掛かり進めたいと思う。

### **西淡路地域**

- ・東淡路商店街がクリスマスイベントを実施したと聞いている。
- ・淡路本町商店街で元東宝映画館を活用したイベントを実施したと聞いている。
- ・11月19日にどこどこどんという太鼓演奏で活動する団体の発表をするイベントを実施した。
- ・もと西淡路小学校跡地の活用に関するアンケートの結果が分かり次第、部会で報告したいと思う。
- ・新大阪駅周辺地域都市再生緊急整備協議会について、地域からは新たなまちづくりを歓迎する意見と共に住民参加のまちづくりを継続して欲しいと意見があった。

## **(3) 地域でつくるまちプランについて**

### **(事務局)**

- ・豊新地域で地域別保健福祉計画を見直すために1月から3月にかけてワークショップを6回実施する話や啓発地域からは次年度はアクションプランの作成を頑張りたいというお話があり、下新庄地域でも昨年にはワークショップが実施されている。各地域で色々な動きがある中で、それらをアクションプランに繋げたいと事務局では考えている。

- ・1つの地域で1つの計画という考えで資料を作成している。アクションプランと地域別保健福祉計画のテーマは似ている部分も多いので、包含した地域の計画を策定する方向で関係部署と連携して支援したいと考えている。
- ・具体的な進め方としては、地域でワークショップを進める時に、アクションプランと地域別保健福祉計画に係る材料を提供し、それらを踏まえて議論をしていただき、地域別の計画を策定したいと考えている。
- ・現状では、区役所から2つの計画を作って頂く事をお願いしている形になっているが、それぞれ別の形で作るのではなく、まちの目指すべき姿を示したものを1つ作って頂きたいと思っています。それが、アクションプランであり地域別保健福祉計画や地域防災計画といった色んな役割を持つ計画になると考えている。区役所の内でも関係部局と連携し進めて行きたいと考えている。

### **(部会長)**

- ・2つの計画の作成に際して、実際に参加されるメンバーが近い構成になること等を考えると共同で計画を作ろうという考えは理解できる。ただ、これまで本部会でまちづくりのアクションプランを作ろうと議論してきた内容との整合性はキチンと取って貰いたいと思う。
- ・地域別保健福祉計画について、府や市が策定している保健福祉計画の焼き直しのようなものにならないか危惧している。下新庄地域と東淡路・柴島地域は2月にワークショップの開催を予定していると聞いている。各地域の歴史や文化を踏まえた内容で作成するようにしてもらいたい。そこに注意して頂けるのであれば、1つの計画になっても良いと思う。

### **(事務局)**

- ・地域の歴史、現状、抱える課題、あって欲しい姿を示した上で何をするかを整理し、地域それぞれの状況を表さなければならないと地域別保健福祉計画の担当と摺合せている。今後、連携し計画を作成する時も常にやり取りをしたいと考えている。地域の方々が計画を作るということを大事にしたいと思っている。

### **久教授のアドバイス要旨**

- ・障がいを持った子どもの親の支援やモンゴルの異文化交流をアピールできると地域に人が集まるように思う。
- ・部会員から社協や地活協の関係について話が出たが、地活協ができた事で、地域に社共、連合長会、地活協の3つの団体があることになる。この3つの団体が上手く連携できないとアクションプランと地域別保健福祉計画を一緒にすることが難しくなってしまう。団体の連携についても意識して進めて貰いたいと思う。
- ・東淀川区は3つの団体の関係が上手くいっていると思っている。地域によっては、地活協をつくるのに2年かかった事例もある。この計画を1つにすることが3つの団体を1つにするきっかけにもなると思う。各地域でそれぞれの団体の役割や関係を良いものにして貰えればと思う。
- ・この計画の作成が新たな人材の発掘にも繋がらないかと思っている。他の地域では、現役を引退し自発的に子育て支援等を行っているのに、お住まいの地域でのデビューをしていない人がいる。これを機に潜在的な人材を発掘できればと思う。役員の方が中心にはなると思うが、広く関心のある参加者を募って貰いたいと思う。

#### 4. その他

---

- ・ 次回の部会は令和 5 年 3 月 9 日（木）まちづくり協議会終了後から、東淀川区役所 3 階区民ホールで開催予定。

#### 5. 閉会

---

以上